

北九大生が

吉田で地域創生してみた!

Q,なぜ北九大生が吉田に?

北九州市立大学 地域創生学群の1年生には、約1年間、指定された市民センターで、地域活動を行うという必修科目があります。またその中には、北九州市小倉北区のコミュニティFM放送局【FM KITAQ】で1年間の活動を通して学んだことや気づいたことを放送するという課題があります。そのため、学生は授業の事を「FM実習」と呼んでいます。

A,授業の実習活動で来ています!

Q,誰が来ているの?

私たちヨッシー団が1年間吉田に来ていました。私たちは入学時にランダムで構成された8人です。メンバーはリーダーの溝上、青柳、宅嶋、古川、糸田、樋谷、川内、小金丸です。ヨッシー団という名前は、「よしだ」からアイデアを得て川内が名づけました。

ヨッシー団が来ています!

大学生が取り込んだこと

1 「小学生対象! 自主学習スペース開放」

この企画は、夏休み期間に入った小学生を対象に、市民センターで友達や大学生と一緒に夏休みの宿題を進めようというものです。私たち大学生が放課後に市民センターを訪れる中で、たくさんの小学生と出会い、声をかけてもらうたびに元気をもらっていました。そのお礼も兼ねて宿題をしたり、大学生に宿題の質問をしたりしてくれる小学生にぴったりだと思い、この企画を行いました。実際には、広報があまりうまくいかず少人数での開催になりましたが顔なじみの子たちと集中しながら、カードゲームで息抜きタイムも取り入れながらみんなで頑張ることができました。



2 「スマホ講座」

スマホ講座では、吉田地区の高齢者をターゲットにしました。市民センターには、約30種類のクラブがあり、高齢者の方も多く所属しています。スマホ講座開催のきっかけはある高齢者の方が大学生にスマホアプリについての質問をしてくださったことです。大学生の対応が好印象であったため需要を感じると同時に館長さんからも、スマホ講座の依頼があったため開催しました。当日は大学生と参加者の一対一での個別相談会の時間を多くとり、参加者に寄り添った形で行いました。好評で第2回も行うことができ意味があった活動になったと感じています。

他にも吉田の方々と多くの活動を行いました!
FM KITAQにて詳しい活動報告を行っています。
よければQRコードもしくはリンクからご視聴ください!

YouTube



https://youtu.be/-858y3XzCtU?si=A4_-RkwyxEN3IbJA



1年間吉田に行って学んだこと

1年間の活動を通して「地域活動=良いこと」ではないということがわかりました。地域活動をしていれば、自然と人が集まる、協力してくれると思っていましたが単純なことではないということに気づきました。その為、「自分たちがやりたいこと」と、「地域住民の方々の需要」とのバランスを取ることが、とても大切であると気づきました。自分たちも楽しく参加者に楽しんでもらえる活動をつくっていくことが、より良い地域活動につながるのだと感じました。



約1年間支えてくださった館長、会長、職員さん、吉田のみなさん、良い経験を本当にありがとうございました。